



# 犯罪の防止対策委員会活動報告

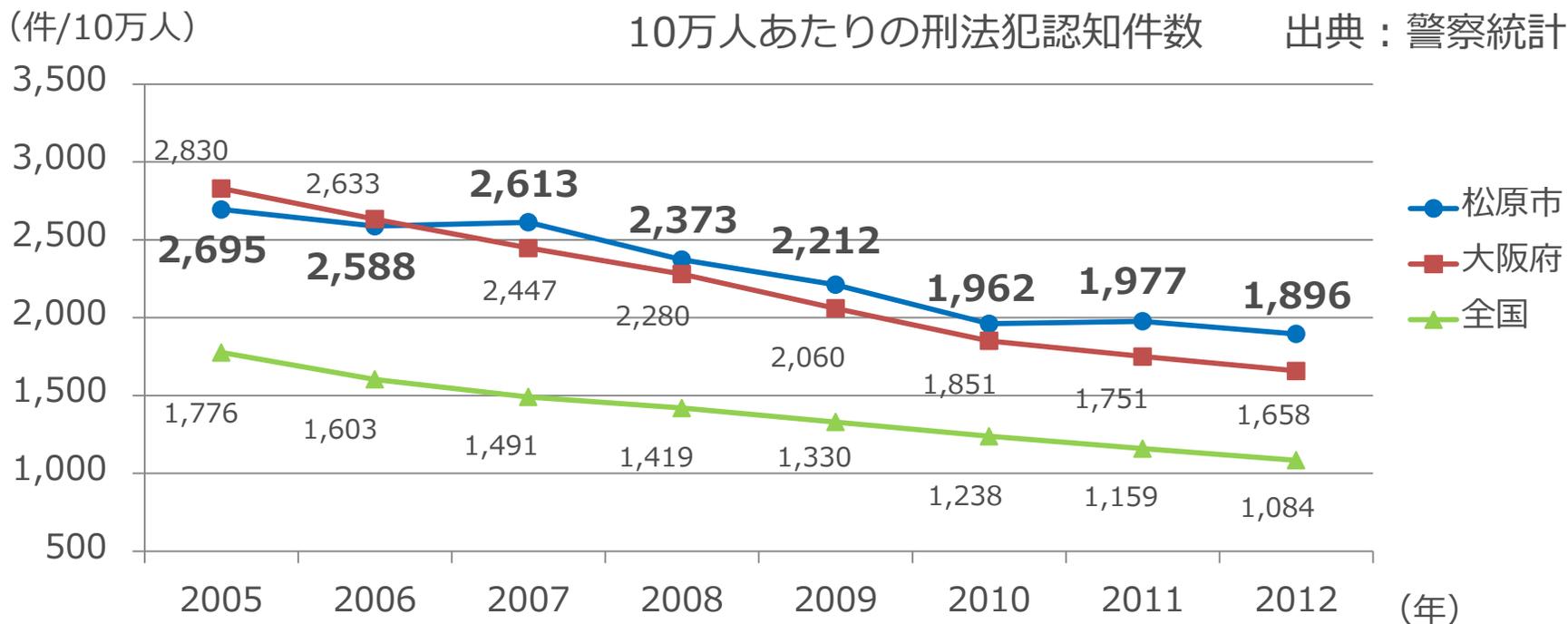


松原市セーフコミュニティ  
犯罪の防止対策委員会

報告者 : 犯罪の防止対策委員会 委員長 山本 剛  
所属 : 松原事業場防犯協会 会長



# 背景：全国と比較して**犯罪認知件数が多い**



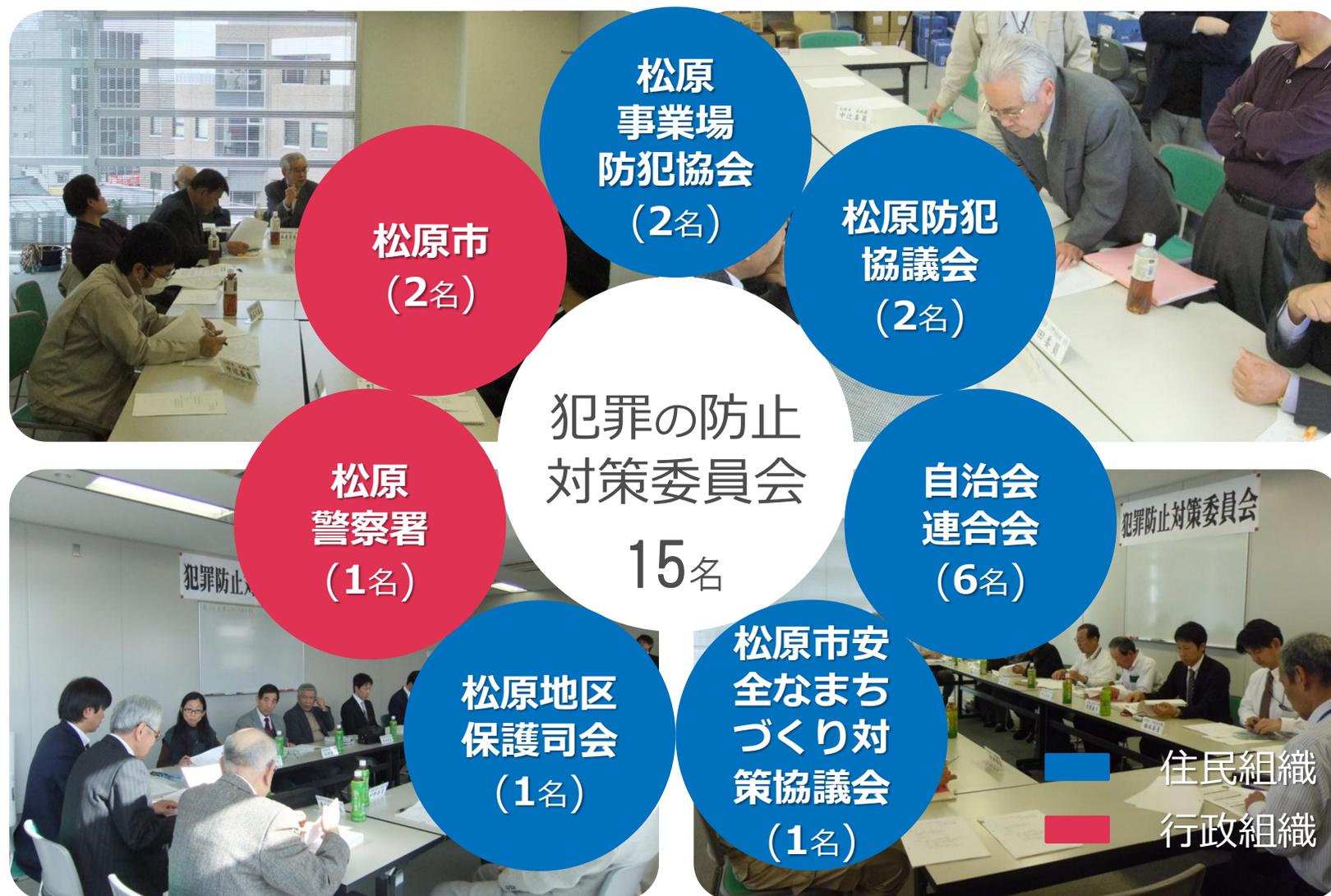
## 犯罪への不安感

市民の**63%**が**犯罪への不安**を感じている

出典：けが及び安心安全に関する実態調査アンケート(2011)



## 対策委員会の構成





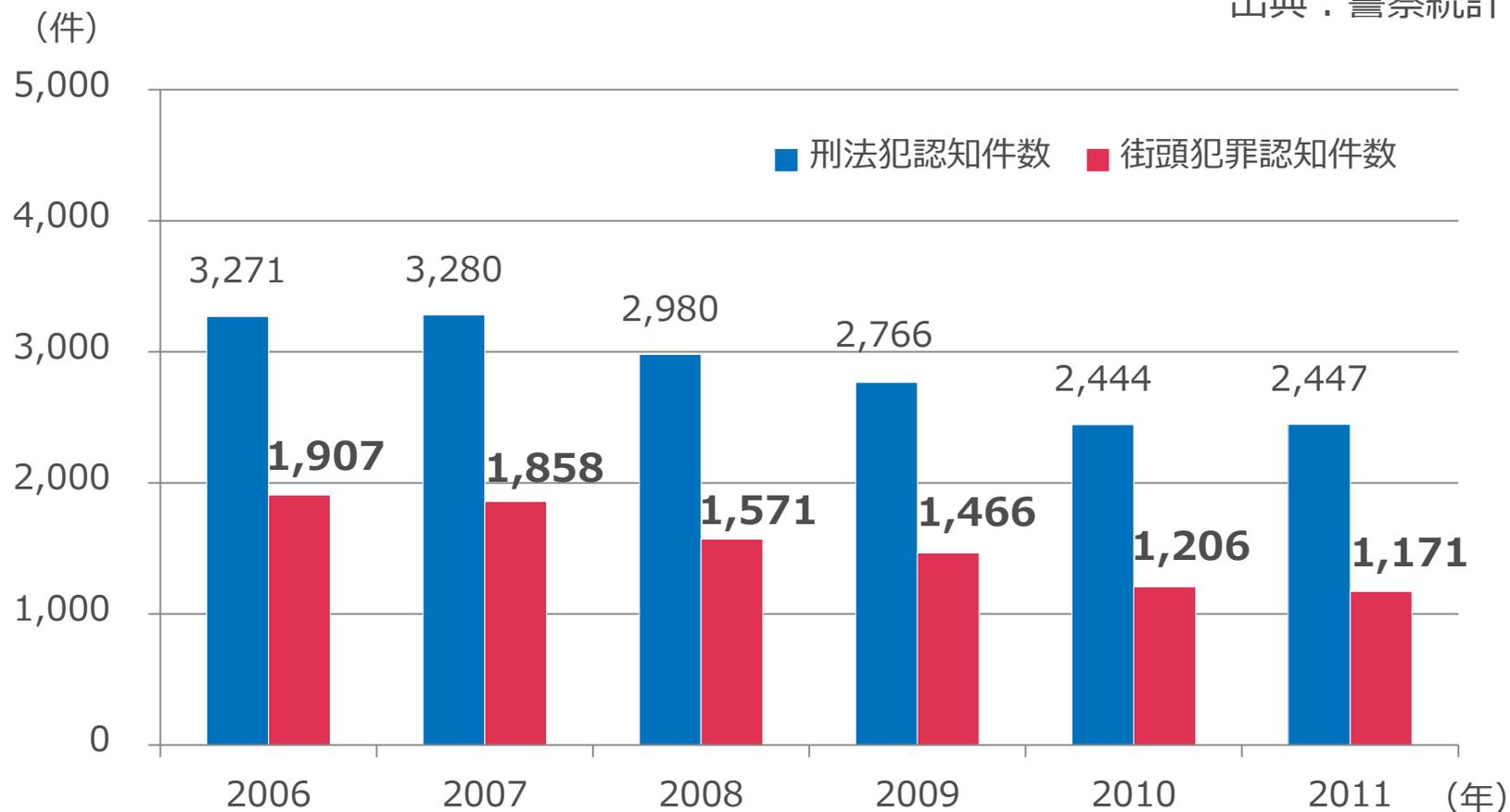
## 対策委員会の経緯

開催日		回	内容
2011	12月13日	第 1回	セーフコミュニティの概要とスケジュール説明
2012	1月23日	第 2回	松原市の犯罪状況報告と課題の検討
	3月15日	第 3回	既存の取組の確認と課題に対する取組の検討
	5月14日	第 4回	取組に対する評価方法の説明と指標等の検討
	7月 3日	第 5回	課題に対する取組内容の検討
	9月28日	第 6回	対策委員会間の情報共有のため合同会議開催
	10月28日	第 7回	セーフコミュニティ事前審査での発表
	12月14日	第 8回	事前審査の講評に関する検討 本審査に向けた取り組みについて
2013	1月18日	第 9回	本審査に向けた取り組みについて
	3月13日	第10回	本審査に向けた取り組みについて
	5月15日	第11回	本審査に向けた取り組みについて
	7月24日	第12回	対策委員会間の情報共有のため合同会議開催



# 課題1 刑法犯罪の約半数を街頭犯罪が占めている①

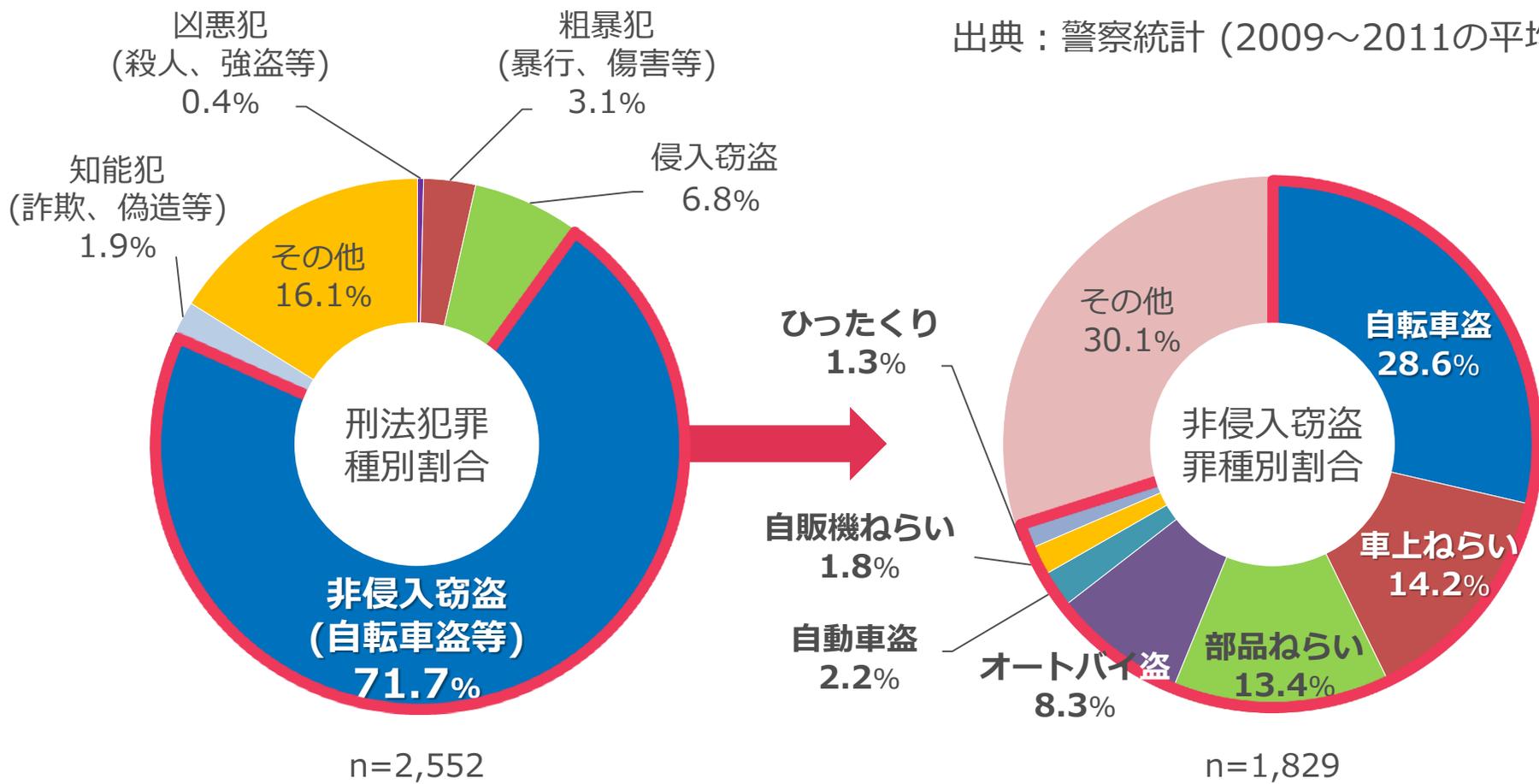
出典：警察統計





# 課題1 刑法犯罪の約半数を街頭犯罪が占めている②

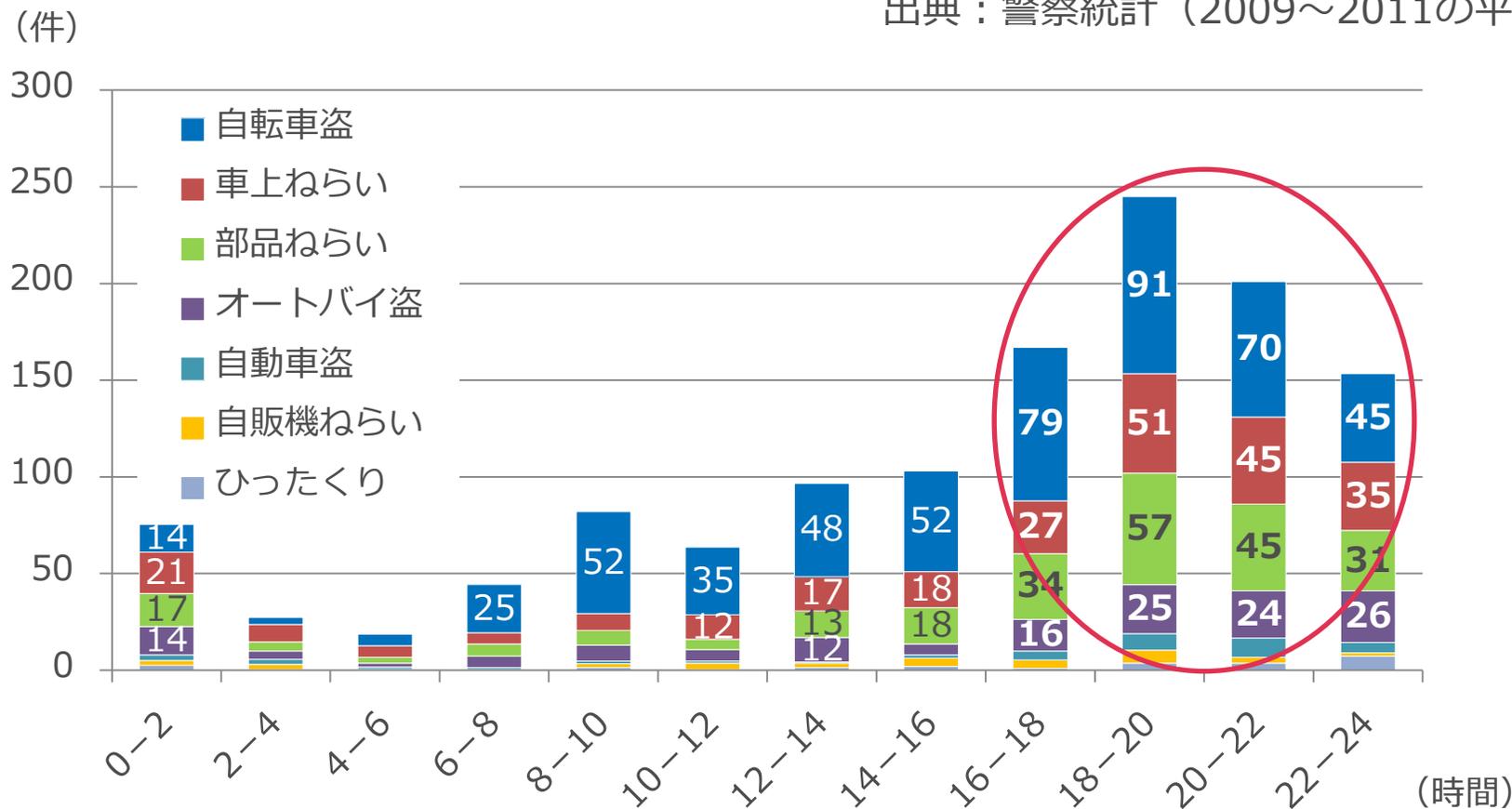
出典：警察統計 (2009～2011の平均)





## 課題2 街頭犯罪は夕刻から夜間に多い

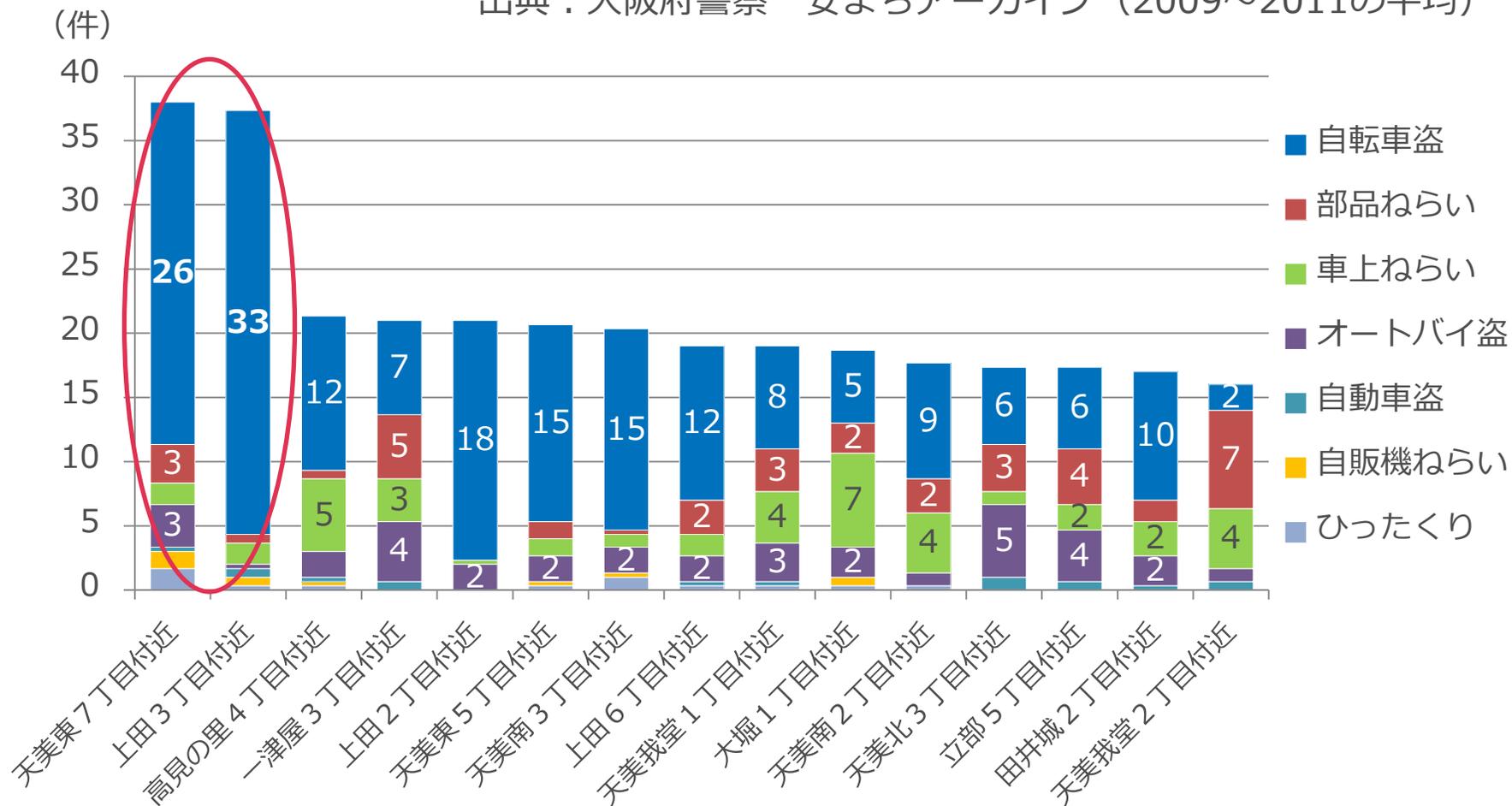
出典：警察統計（2009～2011の平均）





# 課題3 街頭犯罪は特に駅周辺が多い

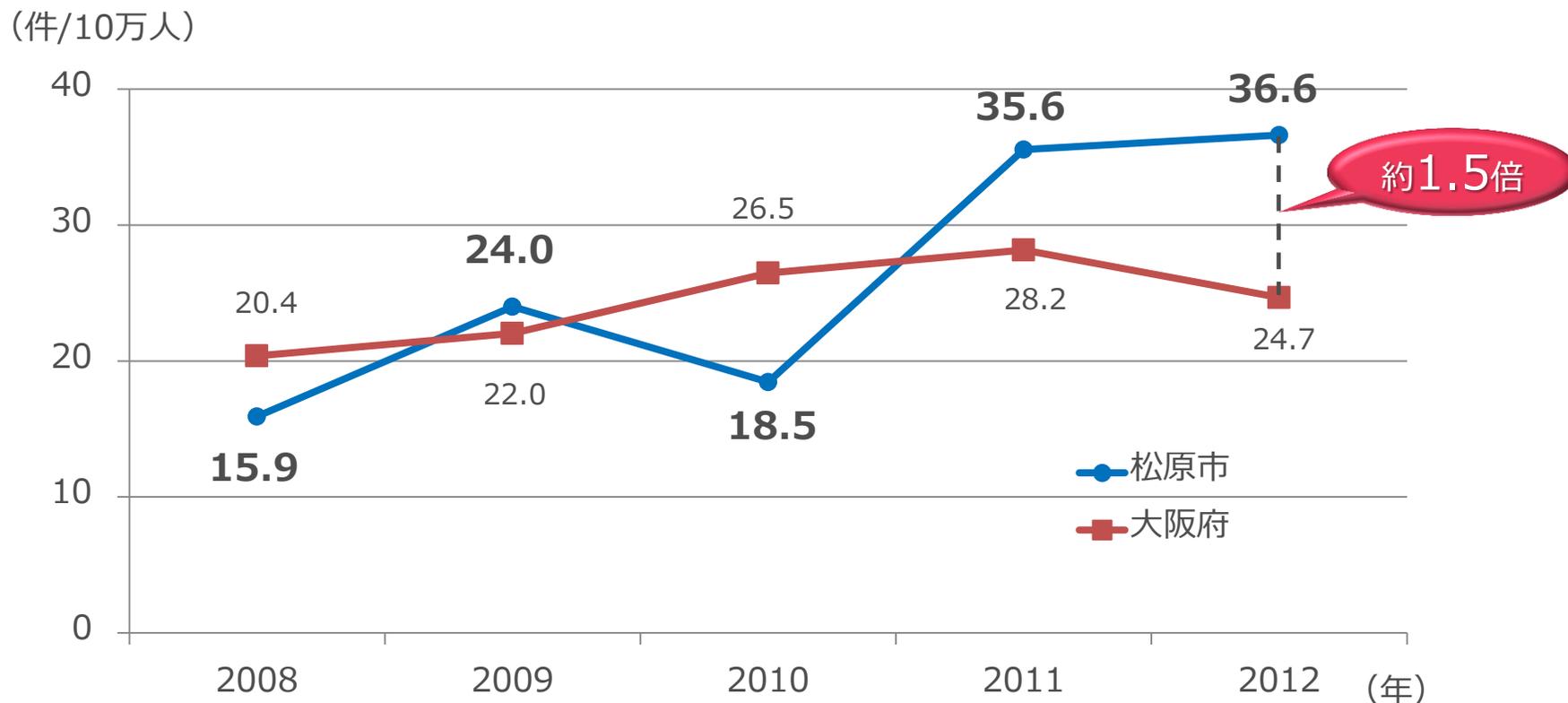
出典：大阪府警察 安まちアーカイブ（2009～2011の平均）





## 課題4 子ども(16歳未満)への声かけ事案等が増加傾向

出典：大阪府警察 安まちアーカイブ

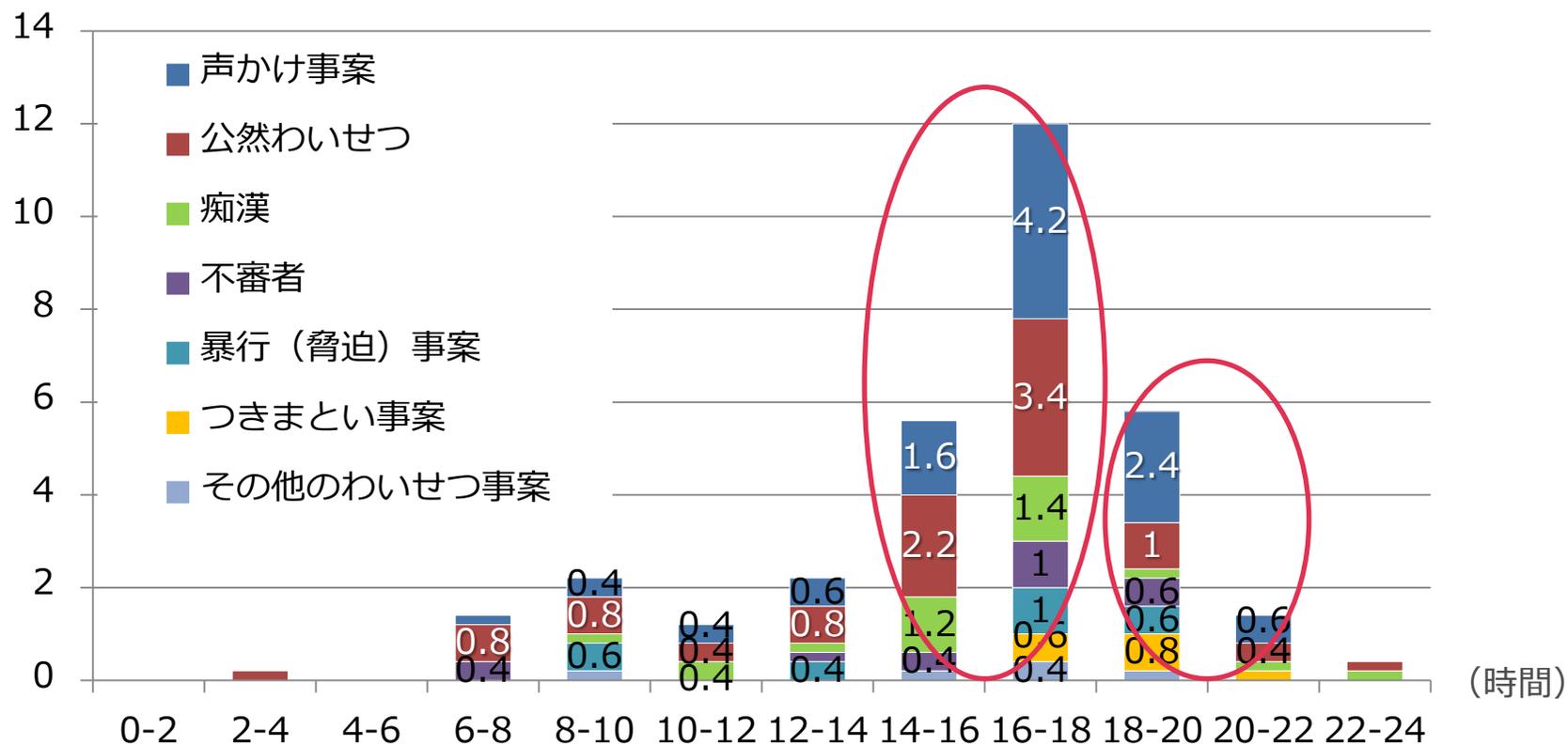




# 課題5 子どもへの声かけ事案等は**下校時間帯**が多い

# 課題6 子どもへの声かけ事案等は**夜間**にも発生

出典：大阪府警察 安まちアーカイブ（2008～2012の平均）





## 課題7 通学路かどうかを問わず**広範囲**で発生

2011年と2012年の昼間の子どもへの声かけ事案等の発生場所と通学路を地図上に反映。

昼間： 4月～9月は7時～18時  
10月～3月は7時～17時



子どもへの声かけ事案等発生マップ

発生場所を見える化し、確認

**通学路上で多く発生しているが、それ以外でも発生している**



以上のことから、浮かび上がってきた課題は・・・

---

**課題 1. 刑法犯罪の約半数を街頭犯罪が占めている**

**課題 2. 街頭犯罪は夕刻から夜間に多い**

**課題 3. 街頭犯罪は特に駅周辺で多い**

**課題 4. 子どもへの声かけ事案等が増加傾向にある**

**課題 5. 子どもへの声かけ事案等は下校時間帯が多い**

**課題 6. 子どもへの声かけ事案等は夜間にも発生**

**課題 7. 子どもへの声かけ事案等は通学路かどうかを問わず広範囲で発生**



# 小さな犯罪を放置することで凶悪な犯罪を招く

## 割れ窓理論

### 地域による対応が可能

小さな犯罪を放置

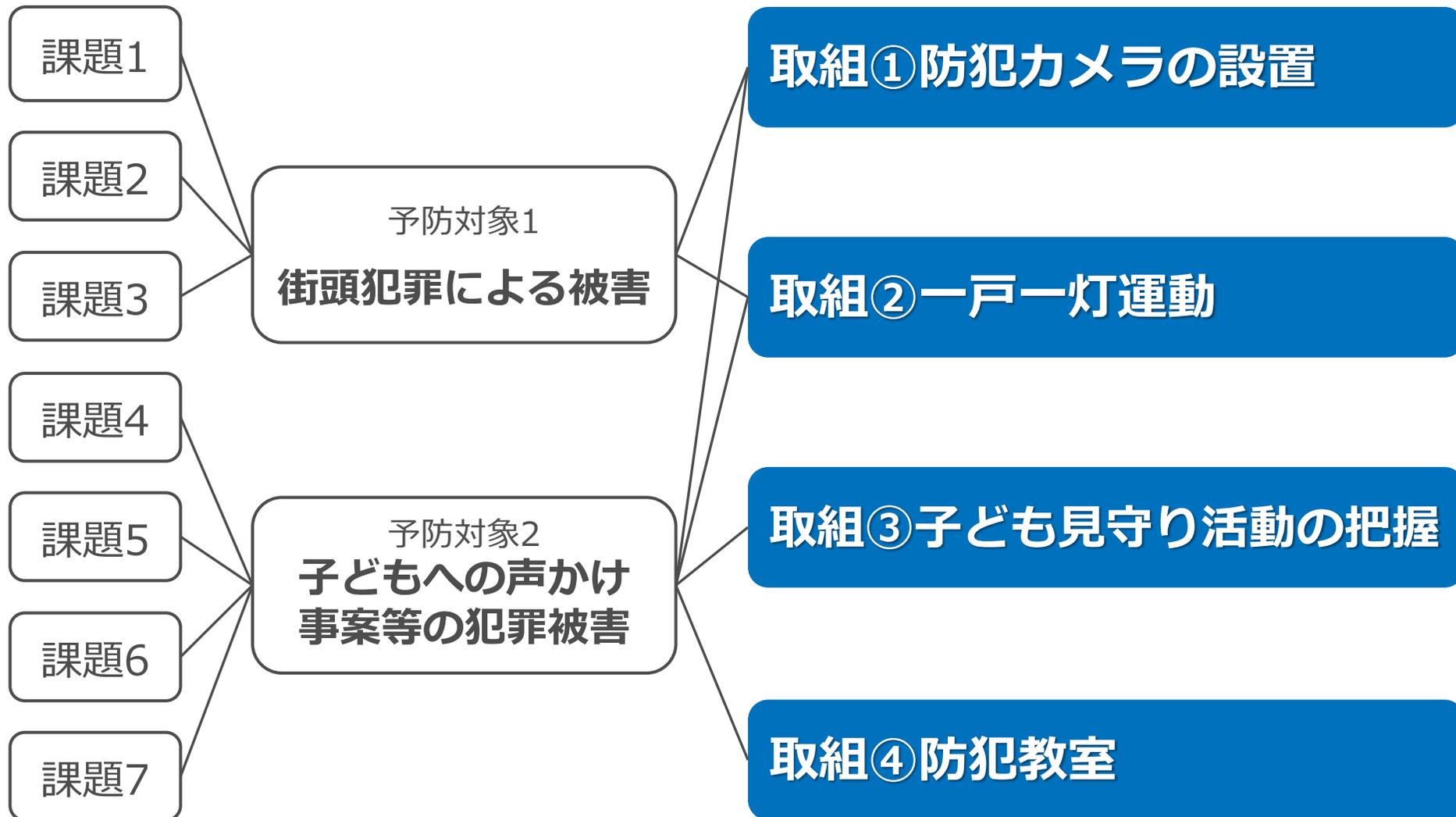
犯罪を引き起こしやすい環境

### 警察による対応が必要

凶悪な犯罪  
(殺人、傷害、暴行)



## 課題に対する取組





## 取組① 防犯カメラの設置（概要）

対 象 : 松原市内街頭

実施関係者 : 町会、商店会、警察署、松原市

現在実施内容 : 町会や商店会、市が街頭に防犯カメラを設置。

（町会設置分については、市が設置費用、管理費の一部を助成。）

### 改善事項

- 街頭犯罪発生場所や子どもの犯罪被害発生場所を記した地図及び警察署との相談をもとに設置場所を検討する。
- 各防犯カメラには既に防犯カメラ設置表示板を設置しているが、特に街頭犯罪が多い場所には、抑止効果を高めるため、より分かりやすい表示板を設置する。



# 取組① 防犯カメラの設置（実績）

## 設置台数

67台  
(2010年度末)

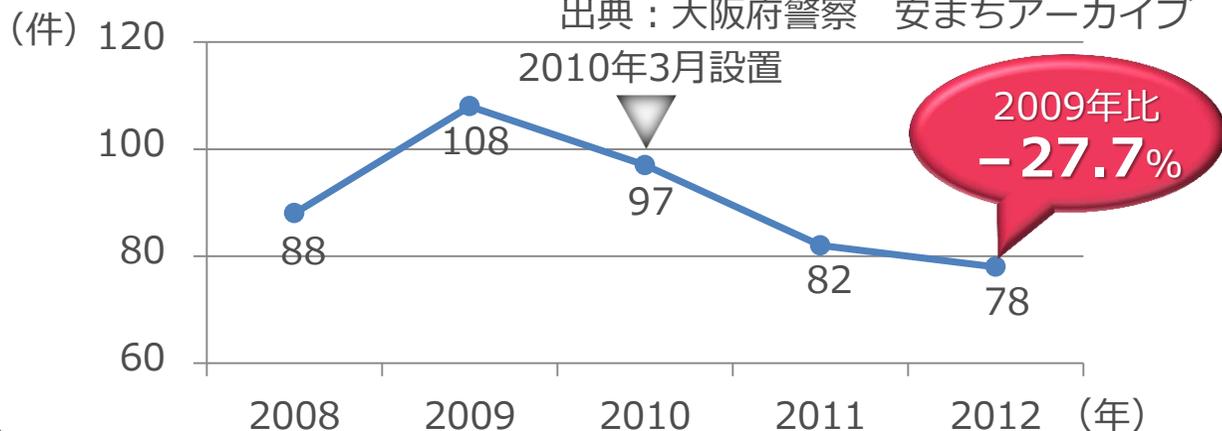
SC登録後

112台  
(2012年度末)

## 設置効果

松原駅、天美駅周辺防犯カメラ設置地域街頭犯罪発生件数

出典：大阪府警察 安まちアーカイブ



## 改善実績



自転車盗発生場所（2011）



防犯カメラ表示板設置



## 取組② 一戸一灯運動（概要）

対 象 : 道路沿いの住宅

実施関係者 : 道路沿いの市民

新規実施内容 : 夜間に道路沿いの住宅で外灯等を点灯し、自宅の防犯及び犯罪が発生しやすい夜間の環境改善を図る。

### 全地域

広報紙等での周知、啓発

### モデル地域

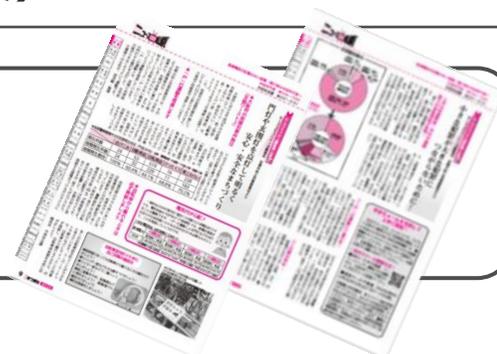
夜間に子どもの犯罪被害が発生している地域において、協力依頼のチラシとともに、運動推進ステッカーをモデル地域の全戸に配布する。



## 取組② 一戸一灯運動（実績）

### 全地域

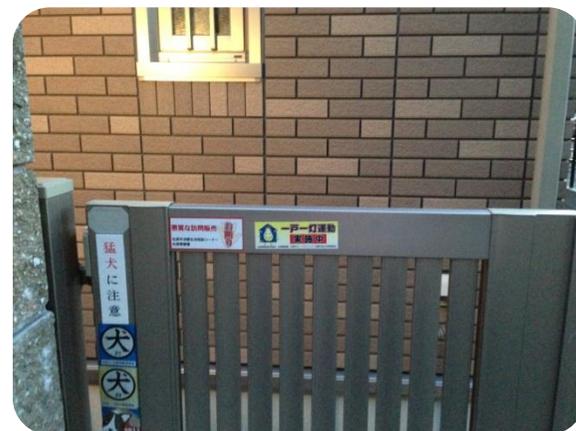
2012年8月号、2013年5月号の広報紙で掲載



### モデル地域



松原事業場防犯協会が出資し、  
松原警察署が作成した運動推進  
ステッカー



対策委員によるモデル地域での「一戸一灯運動」推進の様子（2013.6.4）



## 取組③ 子ども見守り活動の把握

通学時間帯の通学路においては、地域団体による子ども見守り活動や青色防犯パトロールなどを実施している。



対策委員会で子ども見守り活動を検証

各小学校区で安全マップを作成し、それを見守り活動に活用している。

**通学時間帯、通学路**については、**見守りが充実**していることを確認。

**取組を継続**



## 取組④防犯教室（概要）

### 既存事業（継続）

対 象 : 子ども、高齢者、松原市民

実施関係者 : 保育園、幼稚園、学校、地域団体、  
警察署

現在実施内容 : 保育園や幼稚園、学校、老人施設等  
において参加者の年齢層にあった  
テーマで、松原市の犯罪状況を交え、  
防犯対策について警察署が講演を実施。



### +aとして

入学式や授業参観日後に、保護者に対して、子どもの犯罪被害防止に関するチラシの配布や話をするすることで、子どもの犯罪被害に対する保護者の意識を高め、家庭での教育や自己対策、保護者の見守りに繋げ、子どもの犯罪被害の減少を図る。



## 取組④防犯教室（実績）

全15小学校、7中学校へ依頼（2013年4月～）

授業参観日後の防犯教室の様子



松原第6中学校（2013.5.10）



## 取組の評価方法①

取組	成果（①目標 ②確認方法 ③確認対象）		
	短期（認識）	中期（行動）	長期（状態）
防犯カメラの設置	<p><b>指標名：防犯カメラ設置台数</b></p> <p>①防犯カメラ設置台数の増加 ②市の事業統計（1年ごと） ③松原市、町会</p>		<p><b>指標名：設置地域の街頭犯罪発生件数</b></p> <p>①設置地域の街頭犯罪発生件数の減少 ②警察統計（1年ごと） ③街頭犯罪</p> <p><b>指標名：設置地域の体感治安</b></p> <p>①設置地域の体感治安の向上 ②アンケート調査（3年ごと） ③市民</p>



## 取組の評価方法②

取組	成果 (①目標 ②確認方法 ③確認対象)		
	短期 (認識)	中期 (行動)	長期 (状態)
一戸一灯運動	<b>指標名：啓発用チラシ配布累計数</b> ①啓発用チラシ配布累計数の増加 ②配布枚数を確認(1年ごと) ③モデル地域	<b>指標名：外灯点灯世帯割合</b> ①外灯点灯世帯割合の増加 ②アンケート(3年ごと) ③モデル地域	<b>指標名：子どもの犯罪被害発生件数</b> ①子どもの犯罪被害発生件数の減少 ②警察統計(1年ごと) ③子どもの犯罪被害
防犯教室	<b>指標名：地域で子どもを見守る必要性の認識</b> ①地域で子どもを見守る必要性の認識割合の向上 ②アンケート調査(1年ごと) ③保護者	<b>指標名：地域で子どもを見守る実践割合</b> ①地域で子どもを見守る実践割合の向上 ②アンケート調査(1年ごと) ③保護者	<b>指標名：夜間における子ども犯罪被害発生件数</b> ①夜間における子ども犯罪被害発生件数の減少 ②警察統計(1年ごと) ③夜間における子どもの犯罪被害

\* 「子ども見守り活動の把握」については、SC活動後の改善点は無いため、指標を設定していません。



## SC活動による気づきや現時点での到達点

### 全体

- 松原警察署の協力による詳細な犯罪データを対策の絞り込みに活用

### 防犯カメラ設置

- 防犯カメラ設置効果の確認
- 駅前商業施設との連携による防犯カメラ設置表示板の設置

### 一戸一灯運動

- 夜間の子どもの犯罪被害データや防犯協議会委員による暗闇診断を基に「一戸一灯運動」モデル地域を決定
- 地域団体の協力で「一戸一灯運動」推進ステッカーを作成
- モデル地域で対策委員が推進ステッカー等を配布
- モデル地域の駐車場や路地にセンサーライトを設置

### 防犯教室

- 学校との連携により授業参観後、保護者に防犯教室を実施



## 今後の課題と方向性

### 全体

割れ窓理論を基に、地域でも対応が可能である小さな犯罪や犯罪を起こしにくい環境作りに取り組み、改善していくことで、直接外傷に結びつく殺人、傷害、暴行といった凶悪な犯罪を未然に防ぐことに繋がると考えている。そのため予防対象としてあげている街頭犯罪や子どもの犯罪被害のみならず、**殺人、傷害、暴行といった犯罪の推移も分析し、取り組みの検証**を行っていく。

### 防犯カメラ設置

防犯カメラ設置済みで、街頭犯罪が集中している地域には、**設置表示板を設置**し、防犯カメラ未設置で、街頭犯罪が集中している地域には、**設置を促す**。

### 一戸一灯運動

市内全域には、**モデル地域の効果等を紹介**し広めるとともに、確実に運動を広めるために、犯罪発生データや暗闇診断の結果を基に、**モデル地域の増加**を図る。

### 防犯教室

対策委員会委員や学校の先生とより一層協力し、活動を実施していく。



ご清聴ありがとうございました